

多様な公共空間の使い方・使われ方

～ウィズコロナ・アフターコロナに向けたまちを豊かにする取り組み～

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において、時差出勤やテレワークといった働き方の変化や緊急事態宣言下を経て、外出自粛やイベント制限、臨時休業など、これまでには見られなかった、まちに人の賑わいがない状況が続いており、まちとともにあった各種活動に大きな影響が出ています。

一方で、海外の事例にみられるように、これまでにない変化を受けて、まちの空間を状況に応じて活用し、歩行者通行空間や自転車走行空間の拡充、テラス空間や広場空間への転用などが試みられています。

このような状況下において、個々人とまちの関係、まちと空間の関係、新たな取り組みを実現するための各種施策や制度など多方面での動きがみられはじめています。

今回はこのような時勢を踏まえ、多様な公共空間の使い方、使われ方をテーマに、今後訪れる冬季の状況下も想定した、北海道の地方都市におけるまちを豊かにする取り組みの可能性を、参加者とのディスカッションも交えながら考えていきます。



日時：令和2年8月3日(月) 19:00～21:00

方法：オンライン(Zoomを利用して開催)

プログラム：受付開始 18:30～

1 FGPJ、今回企画について

池ノ上 真一 (札幌国際大学)



2 インスピレーショントーク 1

「プレイヤーによる公共空間の活用」

FGPJメンバー 伊藤 涼祐 (株式会社ノーザンクロス)



創成東、苗穂、神田、豊田等の事例を交えながら、プレイスメイキング、ボトムアップ型空間デザイン、タクティカルアーバンイズムといった、まちの空間を活かす考え方、取り組みについて話題提供

3 インスピレーショントーク 2

「多様な道路空間の使われ方」

FGPJメンバー 阿部 正隆 (国土交通省北海道開発局)



これまでの道路空間を活用した様々な取り組みを紹介するとともに、新たな道路政策ビジョン「2040年、道路の景色が変わる」や新しい日常に対応するための当面の道路施策などについて解説し、今後の道路空間の活用の可能性について話題提供

4 質疑応答

Zoomのチャットシステムを活用し、インスピレーショントーク中から
随時受付の上、回答。追加での質問も受付。

5 参加者とのディスカッション

「北海道の地方都市における
まちを豊かにする取り組みの可能性を考える」

モデレータ 話題提供者 FGPJメンバー 伊藤/阿部

6 本日のふりかえり

池ノ上 真一 (札幌国際大学)



参加はこちらから



<https://zoom.us/j/94044954500>

